



特定技能・技能実習制度に関する調査

株式会社 **アイテム**

東京都新宿区新宿1-4-10 アイテム本社ビル

《調査担当》

東日本事業本部 データリサーチチーム

《お問い合わせ》

広報担当/望月・栗木 電話：03-5269-8780

調査概要	2
回答者プロフィール	3
特定技能外国人について（サマリー）	4
「特定技能」制度の認知度	5
特定技能外国人 受け入れ状況（「特定技能」制度の名称を知らない回答者を除く）	6
特定技能外国人 国籍（「特定技能外国人」現在受け入れまたは予定企業）	7
特定技能外国人 受け入れ／検討理由（「特定技能外国人」現在受け入れまたは予定・検討企業）	8
特定技能外国人 受け入れが及ぼす良い影響（「特定技能外国人」現在受け入れまたは予定・検討企業）	9
特定技能外国人 採用活動で困ったこと／不安なこと（「特定技能外国人」現在受け入れまたは予定・検討企業）	10
特定技能外国人 受け入れ後の課題／想定している課題（「特定技能外国人」現在受け入れまたは予定・検討企業）	11
特定技能外国人 採用ルート（「特定技能外国人」現在受け入れまたは予定企業）	12
特定技能外国人 採用数増員意向（「特定技能外国人」現在受け入れ企業）	13
特定技能外国人 受け入れを検討しない理由（「特定技能外国人」受け入れの検討・予定なし企業）	14
技能実習生について（サマリー）	15
「技能実習」制度の認知度	16
技能実習生 受け入れ状況（技能実習制度の名称を知らない回答者を除く）	17
技能実習生 国籍（「技能実習生」現在受け入れまたは予定企業）	18
技能実習生 受け入れ／検討理由（「技能実習生」現在受け入れまたは予定・検討企業）	19
技能実習生 受け入れが及ぼす良い影響（「技能実習生」現在受け入れまたは予定・検討企業）	20
技能実習生 採用活動で困ったこと／不安なこと（「技能実習生」現在受け入れまたは予定・検討企業）	21
技能実習生 受け入れ後の課題／想定している課題（「技能実習生」現在受け入れまたは予定・検討企業）	22
技能実習生 採用数増員意向（「技能実習生」現在受け入れ企業）	23
技能実習生 受け入れを検討しない理由（「技能実習生」受け入れの検討・予定なし企業）	24

調査目的： 2020年4月1日に特定技能に関する法施行から1年を迎えるにあたり、外国人雇用の現状と今後の見通しについて明らかにする。

調査対象： 特定技能制度及び技能実習制度に関連する業種の採用担当者または経営者

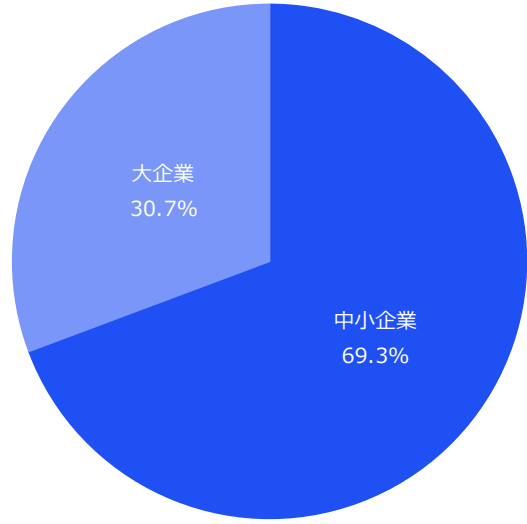
サンプル数： 860サンプル

調査手法： インターネットリサーチ

調査期間： 2020年3月6日（金）～3月9日（月）

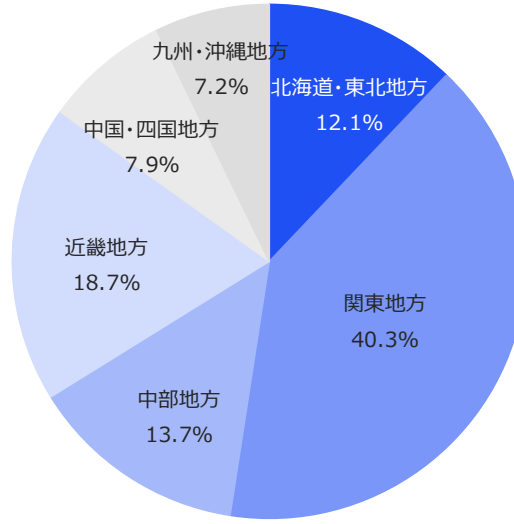
- 本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合がある
- 「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示す
- 「受け入れを予定している 計」とは、受け入れ状況の設問に「半年以内の時期に受け入れを予定している」「半年超1年以内の時期に受け入れを予定している」の回答を合計した値
- 業種別分類に示すものは、回答者数が多い業種を抜粋して掲載した
- 従業員規模別集計において、「中小企業」とは従業員規模が6～299人の企業を指し、また「大企業」とは従業員規模が300人以上の企業を指す
- 役職別集計において、「経営者・役員クラス」とは会社経営（自営業除く）と正社員役員を指し、また「一般社員～管理職クラス」とは企業に勤める一般社員・監督職（係長・主任クラス）・管理職（部長・課長クラス）を指す

■ 企業規模



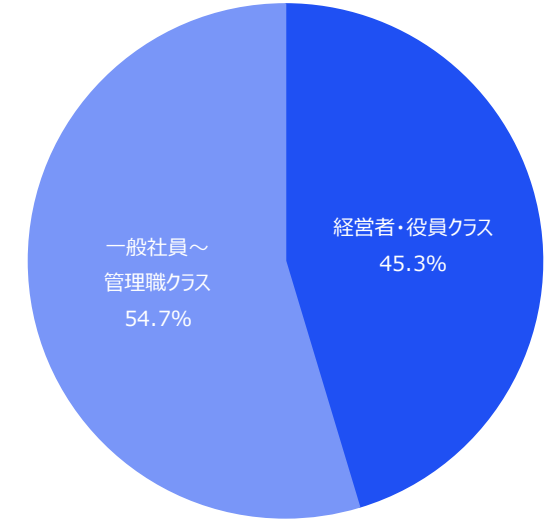
(n=860)

■ 勤務先の本社所在地



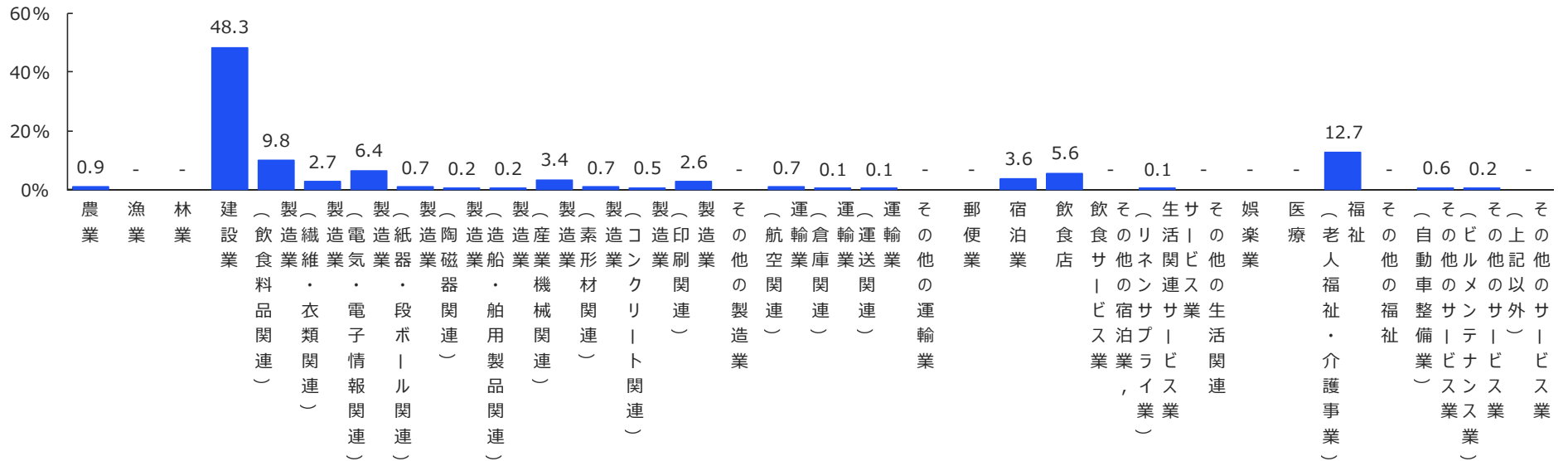
(n=860)

■ 役職



(n=860)

■ 勤務先の業種



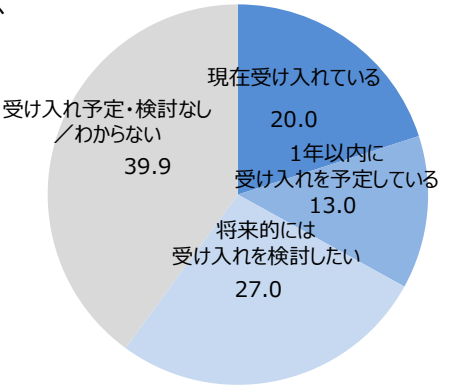
(n=860)

特定技能外国人について（サマリー）

■ 受け入れ状況

「現在受け入れている」が20.0%、「1年以内に受け入れを予定している」が13.0%、「将来的には受け入れを検討したい」が27.0%、「受け入れ予定・検討なし／わからない」が39.9%であった。

■ 受け入れ状況 (n=704)



■ 国籍別

1位「ベトナム」48.9% 2位「中国」30.0% 3位「フィリピン」23.2%

■ 受け入れている（受け入れを検討している）理由

「人手不足の緩和のため」が63.8%、「若年層の人材確保のため」が36.9%、「職場のダイバーシティ化のため」が22.9%であった。

■ 受け入れが及ぼす良い影響

現在受け入れている(働いている) 企業では「人材不足の緩和につながった」が53.2%、「教育制度の見直し・向上につながった」が31.9%。現在受け入れている企業の98%が何らかの良い影響を受けている。

■ 採用活動で困ったこと／不安なこと

「特定技能外国人の日本語レベルが心配」が43.0%、「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」が38.3%、「在留資格申請の手間が煩雑・複雑」が31.2%であった。

■ 受け入れ後の課題／想定している課題

「技能実習生の日本語レベル」が38.5%、「技能実習生の生活面のケアや管理」が38.3%、「技能実習生への日本の生活ルール・マナーの指導」が34.5%であった。

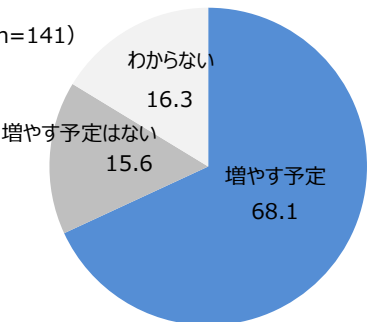
■ 採用ルート

「国外にいる新しい人材を採用する」が45.5%、「現在雇用している技能実習生を特定技能に切り替える」が37.8%であった。

■ 採用数増員意向

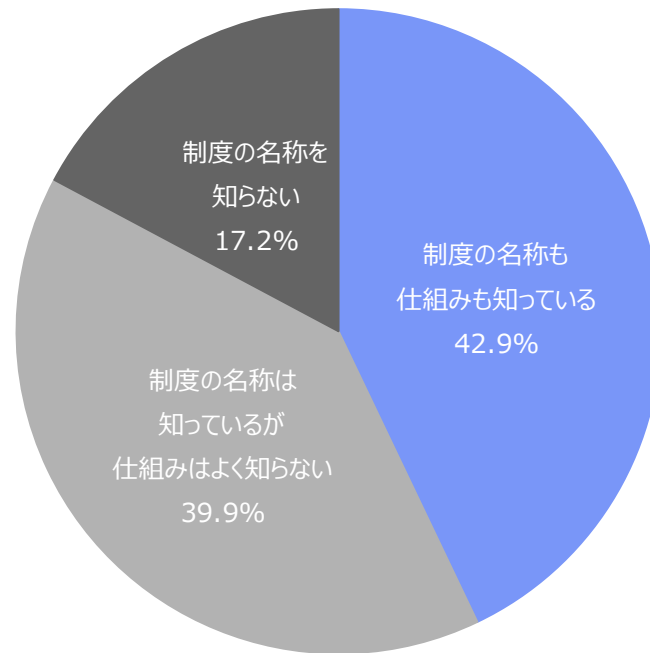
特定技能外国人をを現在受け入れている企業のうち、「増やす予定」が68.1%、「増やす予定はない」が15.6%、「わからない」が16.3%であった。

■ 採用数増員意向 (n=141)



Q あなたは下記の制度を知っていますか。／特定技能

- 「制度の名称も仕組みも知っている」は42.9%、「制度の名称は知っているが仕組みはよく知らない」は39.9%、「制度の名称を知らない」は17.2%
 - 制度の名称の認知は8割を超えているが、受け入れ対象業種の企業でも2割弱は名称を知らなかった。



(n=860)

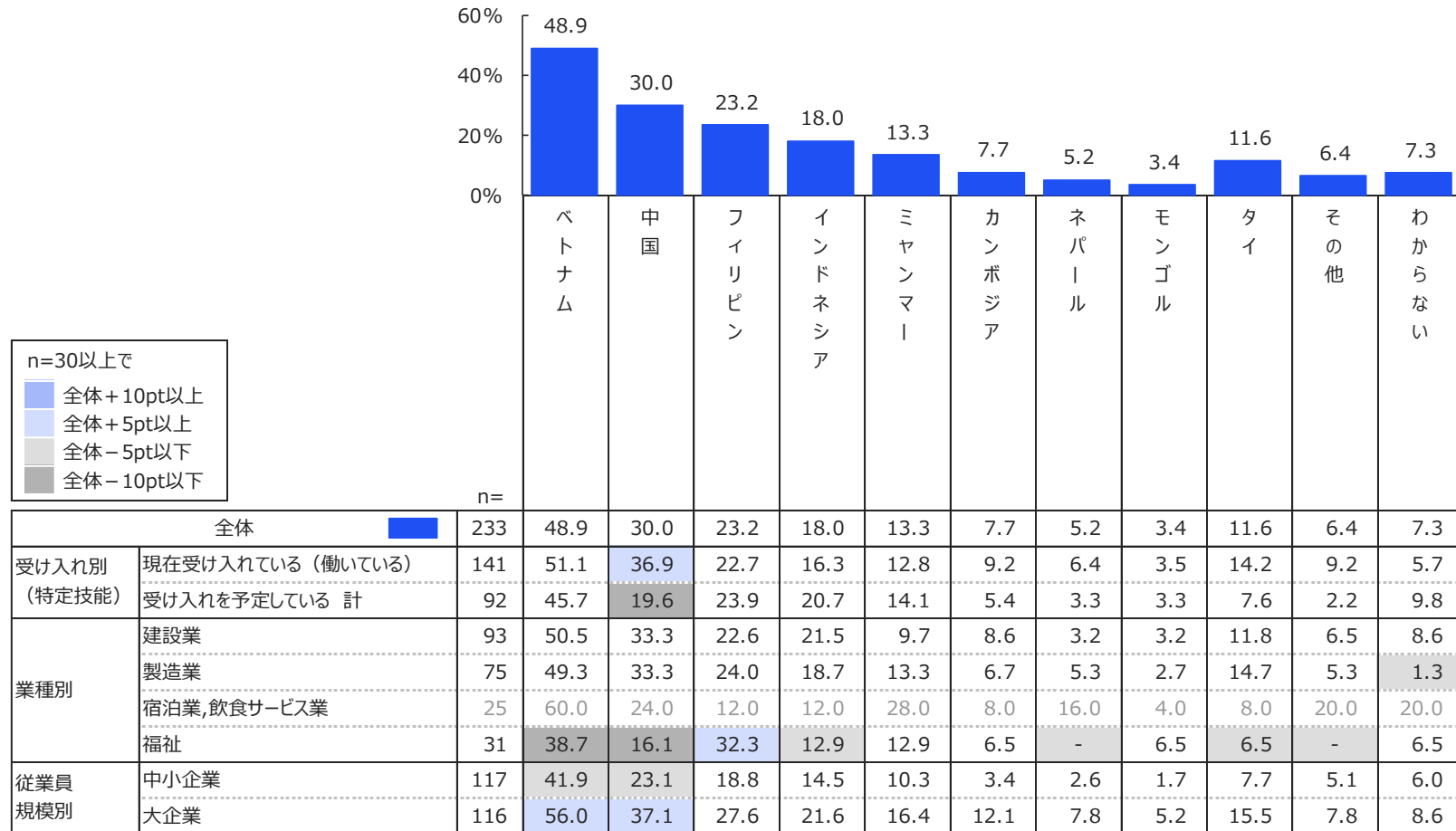
Q 現在、貴社では「特定技能外国人」を受け入れていますか。

- ▶ 特定技能外国人を「現在受け入れている」のは20.0%、『1年以内の時期に受け入れを予定している』のは13.0%、『将来的に受け入れを検討したい』のは27.0%、『受け入れ予定・検討なし／わからない』と回答したのは39.9%。
 - ▶ 業種別では、製造業は26.2%と他業種よりも受け入れている。福祉は現在受け入れているのは14.1%と低いものの、19.6%が1年以内に受け入れを予定しており、今後の受け入れ増加が見込まれる。
 - ▶ 従業員規模別でみると、特定技能外国人を受け入れているのは、大企業で34.2%、中小企業で13.2%と大きな差がみられる。
 - ▶ 技能実習受け入れ別でみると、現在受け入れ企業の67.2%が特定技能外国人も現在受け入れており、1年以内の受け入れ予定を含めると8割程度と高い。

		n=	現在受け入れている (働いている)	半年以内の時期に 受け入れを予定している	半年超1年以内の 時期に受け入れを 予定している	受け入れの予定は ないが、将来的には 検討したい	受け入れる予定はなく、 検討する予定もない	わからない		
全体		704	20.0	7.5	5.5	27.0	33.5	6.4		
業種別	建設業	336	17.3	7.1	3.3	26.2	38.7	7.4		
	製造業	191	26.2	6.8	6.3	27.7	27.7	5.2		
	宿泊業、飲食サービス業	66	22.7	9.1	6.1	30.3	25.8	6.1		
	福祉	92	14.1	8.7	10.9	26.1	34.8	5.4		
従業員 規模別	中小企業	476	13.2	6.5	4.8	29.4	39.5	6.5		
	大企業	228	34.2	9.6	7.0	21.9	21.1	6.1		
受け入れ別 (技能実習)	現在受け入れている (働いている)	174	67.2			10.9	2.9	9.8	5.2	4.0

Q 現在、貴社で受け入れている（予定含む）「特定技能外国人」の国籍を教えてください。（複数回答）

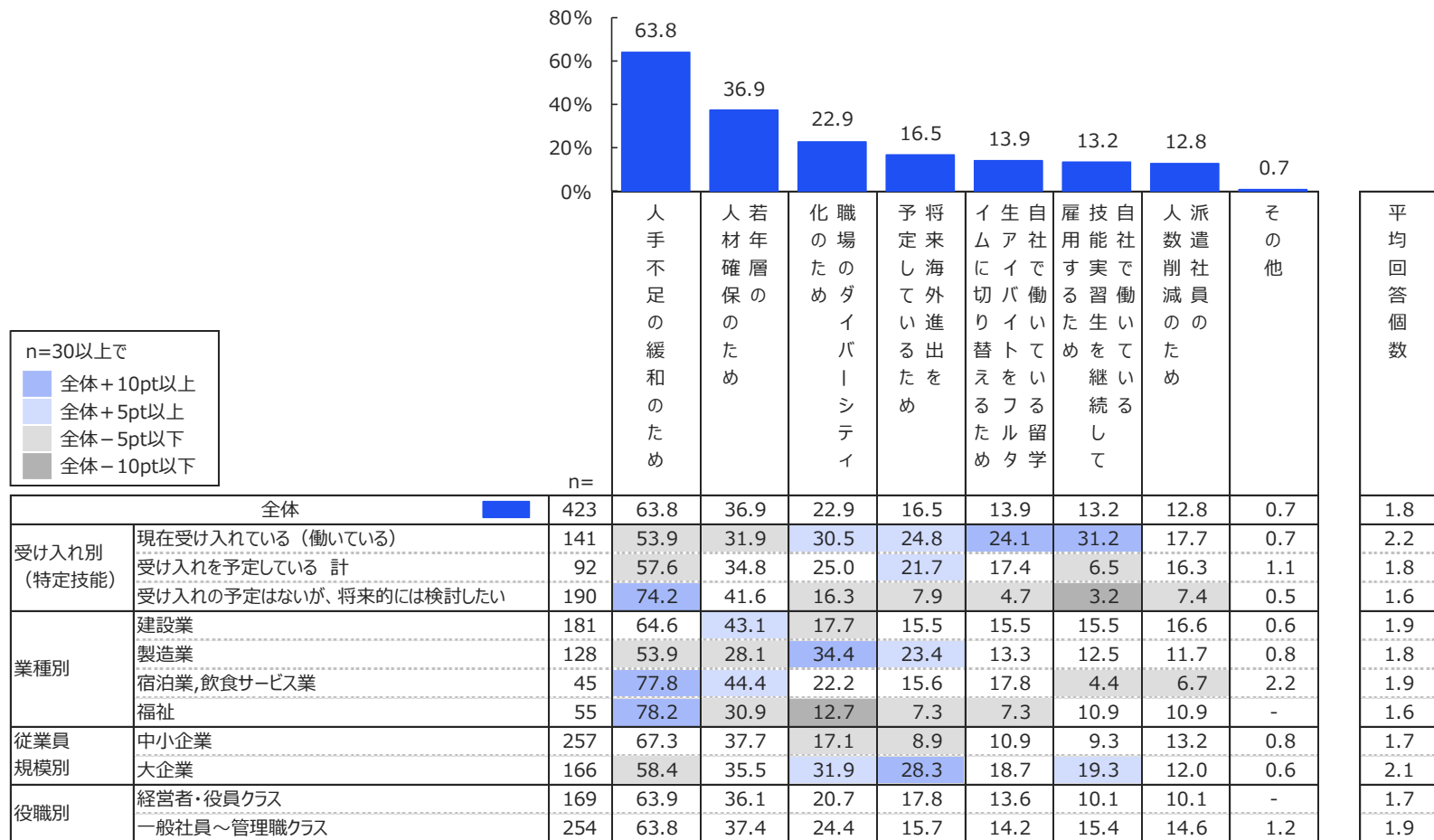
- ▶ 特定技能外国人の国籍は「ベトナム」が48.9%と最も高く、次いで「中国」（30.0%）、「フィリピン」（23.2%）。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、「中国」は現在受け入れ企業が36.9%と高い一方、受け入れ予定企業は19.6%にとどまる。
- ▶ 業種別で見ると、福祉では全体値に比べて、「フィリピン」が32.3%と高く、「ベトナム」「中国」がいずれも低い。
- ▶ 従業員規模別では、大企業では「ベトナム」からの受け入れが56.0%と半数超、「中国」は37.1%と中小企業に大きく差をつけている。



※n=30未満は参考値のため灰色。

Q 貴社が、現在「特定技能外国人」を「受け入れている」または「受け入れを検討している」理由は何ですか。（複数回答）

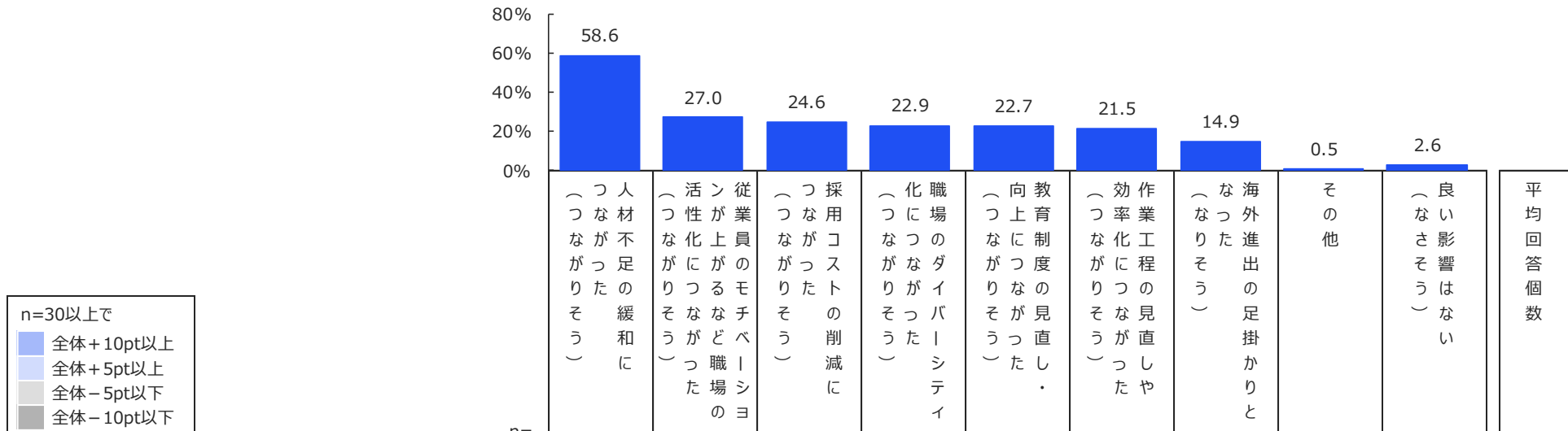
- ▶ 特定技能外国人の受け入れ理由は、「人手不足の緩和のため」が63.8%と最も高く、「若年層の人材確保のため」（36.9%）と続く。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、現在受け入れ企業は「自社で働いている従業員の雇用形態変更」が、検討企業は「人手不足の緩和のため」が全体値を大きく上回る。
- ▶ 業種別でみると、製造業で「職場のダイバーシティ化のため」が、宿泊業、飲食サービス業、福祉では「人手不足の緩和のため」がそれぞれ他業種と10pt以上差をつけている。
- ▶ 従業員規模別では、大企業は「将来海外進出を予定しているため」が28.3%と中小企業（8.9%）の3倍以上になっている。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q 貴社において、「特定技能外国人」を受け入れることで、実際にあった「良い影響」はなんですか。または、「特定技能外国人」を受け入れることで、想定している「良い影響」はなんですか。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人の受け入れが及ぼす影響について「人材不足の緩和につながった（つながりそう）」が58.6%と最も高く、「従業員のモチベーションが上がるなど職場の活性化につながった（つながりそう）」（27.0%）、「採用コストの削減につながった（つながりそう）」（24.6%）と続く。
 - ▶ 特定技能受け入れ別では、現在受け入れている（働いている）企業では「人材不足の緩和につながった」が53.2%、「教育制度の見直し・向上につながった」が31.9%。受け入れている企業の98%が何らかの良い影響を受けている。
 - ▶ 業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業で「採用コストの削減につながった（つながりそう）」が37.8%と他業種を大きく上回る。
 - ▶ 従業員規模別では、大企業では「職場のダイバーシティ化につながった（つながりそう）」が34.9%と、中小企業（15.2%）に2倍以上の差をつけている。



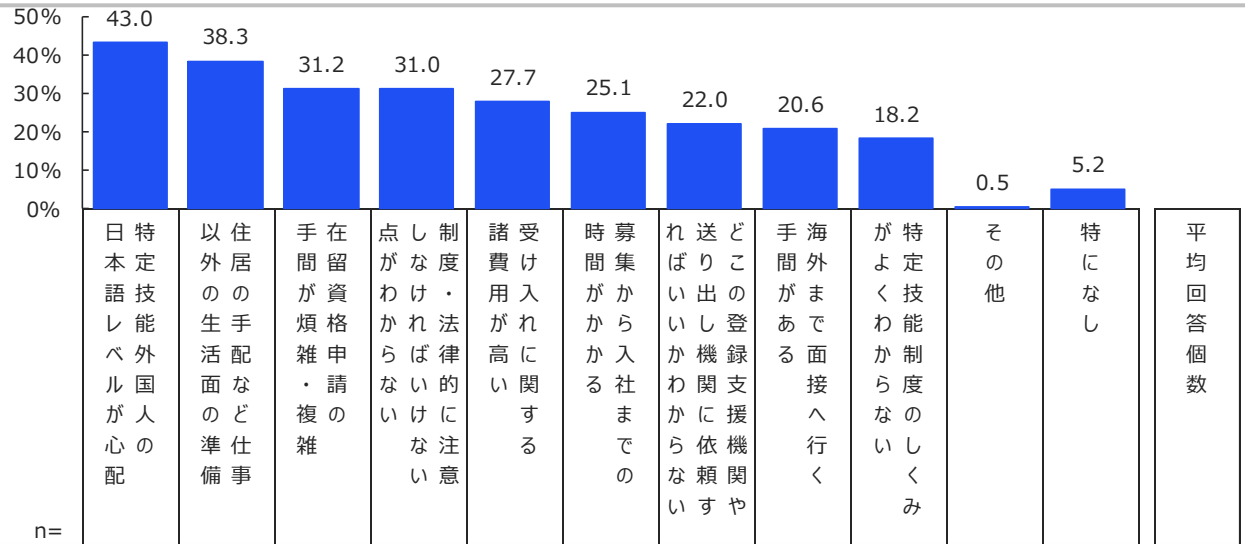
n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	58.6	27.0	24.6	22.9	22.7	21.5	14.9	0.5	2.6	平均回答個数
全体		423	58.6	27.0	24.6	22.9	22.7	21.5	14.9	0.5	2.6	1.9
受け入れ別 (特定技能)	現在受け入れている（働いている）	141	53.2	27.7	24.8	27.0	31.9	24.8	24.1	0.7	1.4	2.1
	受け入れを予定している 計	92	51.1	29.3	37.0	20.7	18.5	30.4	12.0	1.1	1.1	2.0
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	66.3	25.3	18.4	21.1	17.9	14.7	9.5	-	4.2	1.7
業種別	建設業	181	60.2	28.2	22.1	18.2	26.5	27.6	12.7	-	2.2	2.0
	製造業	128	52.3	22.7	24.2	32.0	19.5	18.0	23.4	0.8	1.6	1.9
	宿泊業、飲食サービス業	45	60.0	24.4	37.8	26.7	22.2	17.8	11.1	2.2	6.7	2.0
	福祉	55	65.5	30.9	21.8	14.5	20.0	16.4	9.1	-	3.6	1.8
従業員規模別	中小企業	257	58.8	29.6	22.2	15.2	19.5	19.8	9.7	0.4	3.1	1.8
	大企業	166	58.4	22.9	28.3	34.9	27.7	24.1	22.9	0.6	1.8	2.2
役職別	経営者・役員クラス	169	59.2	29.6	23.1	19.5	20.7	23.1	13.0	-	3.0	1.9
	一般社員～管理職クラス	254	58.3	25.2	25.6	25.2	24.0	20.5	16.1	0.8	2.4	2.0

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 「特定技能外国人」の採用活動の中で困ったことや不安なことはありますか。または、「特定技能外国人」を受け入れることになったとしたら、「採用活動」において不安なことはありますか。（複数回答）

- ▶ 「特定技能外国人の日本語レベルが心配」が43.0%と最も高く、「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」「在留資格申請の手間が煩雑・複雑」「制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない」が30%台で続く。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、現在受け入れ企業では「募集から入社までの時間がかかる」が、受け入れ予定企業では「海外まで面接へ行く手間がある」が、検討企業では「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」「制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない」が、それぞれ他企業より高く、受け入れ状況により懸念点が異なることがうかがえる。
- ▶ 業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業で「在留資格申請の手間が煩雑・複雑」「制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない」が他業種を大きく上回る。



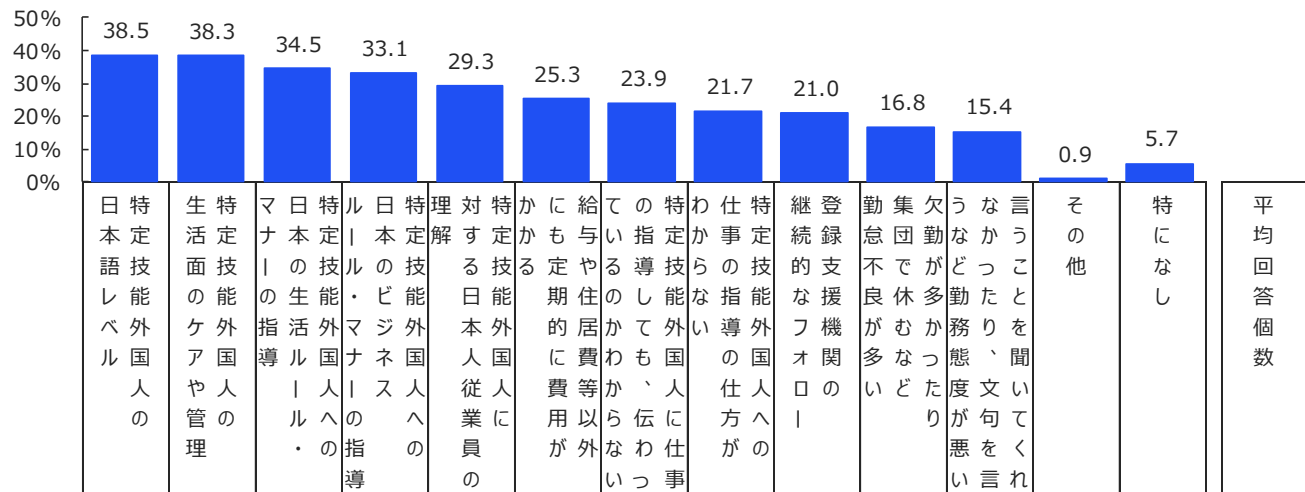
n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	日本語レベルが心配	住居の手配など仕事以外の生活面の準備	在留資格申請の手間が煩雑・複雑	制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない	受け入れ費用が高くなる	募集から入社までの時間がかかる	送り出しの登録に手間がかかる	海外まで面接へ行く手間がある	特定技能の取得に時間がかかる	その他	特になし	平均回答個数
全体		423	43.0	38.3	31.2	31.0	27.7	25.1	22.0	20.6	18.2	0.5	5.2	2.6
受け入れ別 (特定技能)	現在受け入れている（働いている）	141	43.3	29.1	29.8	23.4	24.1	30.5	19.1	17.0	14.9	0.7	5.7	2.3
	受け入れを予定している 計	92	33.7	37.0	25.0	28.3	30.4	25.0	20.7	28.3	17.4	1.1	4.3	2.5
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	47.4	45.8	35.3	37.9	28.9	21.1	24.7	19.5	21.1	-	5.3	2.8
業種別	建設業	181	44.2	36.5	35.4	28.7	30.9	21.5	22.7	19.9	21.5	0.6	4.4	2.6
	製造業	128	39.1	39.8	23.4	28.9	23.4	31.3	26.6	18.8	17.2	0.8	3.9	2.5
	宿泊業、飲食サービス業	45	48.9	37.8	42.2	42.2	26.7	22.2	11.1	17.8	15.6	-	6.7	2.6
	福祉	55	40.0	40.0	23.6	30.9	27.3	20.0	18.2	27.3	12.7	-	10.9	2.4
従業員規模別	中小企業	257	40.9	40.9	31.5	30.7	26.5	24.1	23.7	20.6	17.9	-	6.2	2.6
	大企業	166	46.4	34.3	30.7	31.3	29.5	26.5	19.3	20.5	18.7	1.2	3.6	2.6
役職別	経営者・役員クラス	169	38.5	38.5	32.0	32.0	30.2	23.7	23.1	18.3	12.4	-	3.6	2.5
	一般社員～管理職クラス	254	46.1	38.2	30.7	30.3	26.0	26.0	21.3	22.0	22.0	0.8	6.3	2.6

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 貴社において、「特定技能外国人」の受け入れ後に、「実際に感じた課題」はありますか。または、「特定技能外国人」の受け入れ後に、「想定している課題」はありますか。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人受け入れの課題について、「特定技能外国人の日本語レベル」が38.5%と最も高く、「特定技能外国人の生活面のケアや管理」「特定技能外国人への日本の生活ルール・マナーの指導」「特定技能外国人への日本のビジネスルール・マナーの指導」と続く。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、上記のような上位項目において、現在受け入れ企業になるにつれてスコアが低くなる傾向がみられる。
- ▶ 国籍別では、フィリピン、インドネシア、ミャンマーで「特定技能外国人への日本のビジネスルール・マナーの指導」「欠勤が多かったり集団で休むなど勤怠不良が多い」をはじめ、受け入れ事例の少なさから多くの点で不安を抱えている様子がうかがえる。



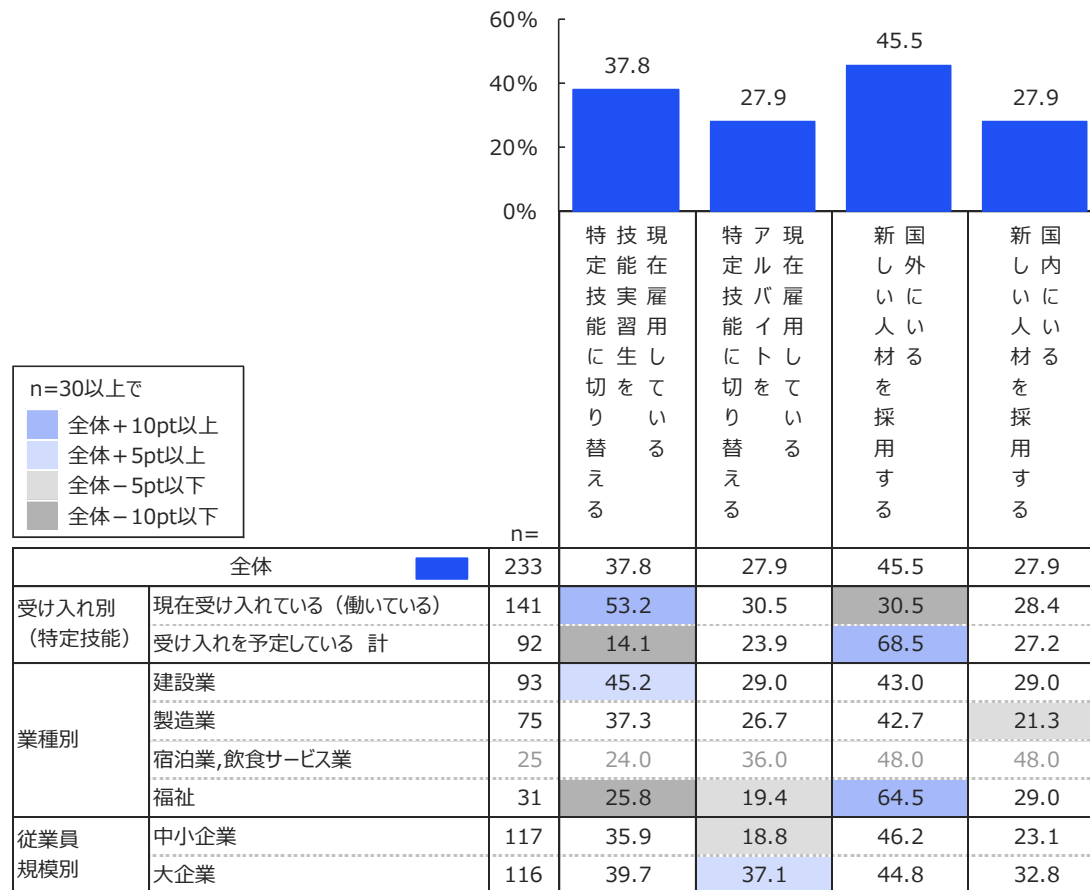
n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	38.5	38.3	34.5	33.1	29.3	25.3	23.9	21.7	21.0	16.8	15.4	0.9	5.7	平均回答個数
全体		423	38.5	38.3	34.5	33.1	29.3	25.3	23.9	21.7	21.0	16.8	15.4	0.9	5.7	3.0
受け入れ別 (特定技能)	現在受け入れている(働いている)	141	32.6	34.0	29.8	28.4	29.8	19.9	20.6	17.0	22.0	12.8	17.0	2.1	6.4	2.7
	受け入れを予定している 計	92	32.6	32.6	33.7	33.7	19.6	26.1	27.2	18.5	23.9	19.6	15.2	1.1	4.3	2.8
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	45.8	44.2	38.4	36.3	33.7	28.9	24.7	26.8	18.9	18.4	14.2	-	5.8	3.3
業種別	建設業	181	40.9	39.8	36.5	32.6	31.5	22.7	29.3	23.8	22.7	21.0	18.8	1.1	6.1	3.2
	製造業	128	34.4	36.7	28.9	29.7	27.3	25.8	23.4	20.3	20.3	11.7	12.5	0.8	3.1	2.7
	宿泊業、飲食サービス業	45	44.4	31.1	44.4	37.8	22.2	26.7	11.1	11.1	22.2	20.0	17.8	-	4.4	2.9
	福祉	55	36.4	38.2	30.9	34.5	30.9	27.3	18.2	23.6	16.4	12.7	7.3	1.8	12.7	2.8
従業員規模別	中小企業	257	38.5	38.9	35.4	30.7	27.6	26.8	24.9	21.8	19.8	18.3	18.3	0.8	5.8	3.0
	大企業	166	38.6	37.3	33.1	36.7	31.9	22.9	22.3	21.7	22.9	14.5	10.8	1.2	5.4	2.9
役職別	経営者・役員クラス	169	38.5	38.5	31.4	26.0	25.4	26.6	20.7	21.3	21.3	12.4	13.0	0.6	4.1	2.8
	一般社員～管理職クラス	254	38.6	38.2	36.6	37.8	31.9	24.4	26.0	22.0	20.9	19.7	16.9	1.2	6.7	3.1
国籍別 (特定技能)	ベトナム	114	35.1	40.4	30.7	35.1	28.1	25.4	28.1	24.6	28.9	17.5	12.3	2.6	5.3	3.1
	中国	70	30.0	32.9	31.4	25.7	31.4	22.9	21.4	18.6	25.7	15.7	22.9	-	10.0	2.8
	フィリピン	54	40.7	46.3	38.9	44.4	37.0	25.9	25.9	27.8	31.5	24.1	20.4	1.9	7.4	3.7
	インドネシア	42	33.3	38.1	38.1	40.5	33.3	31.0	21.4	23.8	38.1	26.2	23.8	-	11.9	3.5
	ミャンマー	31	45.2	58.1	35.5	51.6	29.0	32.3	29.0	32.3	22.6	25.8	16.1	-	9.7	3.8

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 現在、貴社で受け入れている「特定技能外国人」は、どのようなルートで採用をしましたか。または、貴社で受け入れを予定している「特定技能外国人」は、どのようなルートで採用を予定していますか。（複数回答）

- 採用ルートは、「国外にいる新しい人材を採用する」が45.5%で最も高く、次いで「現在雇用している技能実習生を特定技能に切り替える」が37.8%。
- 特定技能受け入れ別では、現在受け入れ企業では「技能実習生の特定技能への切り替え」が半数超、受け入れ予定企業は「国外の新しい人材を採用」が7割近くと、両者に差がみられる。
- 業種別でみると、建設業では「技能実習生の特定技能への切り替え」が、福祉では「国外の新しい人材を採用」がそれぞれ他業種を上回る。
- 従業員規模別では、「アルバイトの特定技能への切り替え」が大企業で37.1%と、中小企業に2倍以上の差をつけている。



※n=30未満は参考値のため灰色。

Q 貴社では、今後「特定技能外国人」の採用数を増やす予定はありますか。

- ▶ 特定技能外国人の採用数について「増やす予定がある」のは68.1%と7割近く。「増やす予定はない」のは15.6%、「わからない」は16.3%。
- ▶ 従業員規模別では、大企業は「増やす予定がある」（76.9%）が、中小企業は「わからない」（23.8%）がそれぞれ他方を10pt以上上回る。
- ▶ 役職別でみると、経営者・役員クラスの75.0%が「増やす予定がある」と回答。一般社員～管理職クラスに比べて高い。
- ▶ 国籍別では、ベトナム、フィリピンでいずれも7割超が「増やす予定がある」と回答しており、全体値に大きく差をつけている。

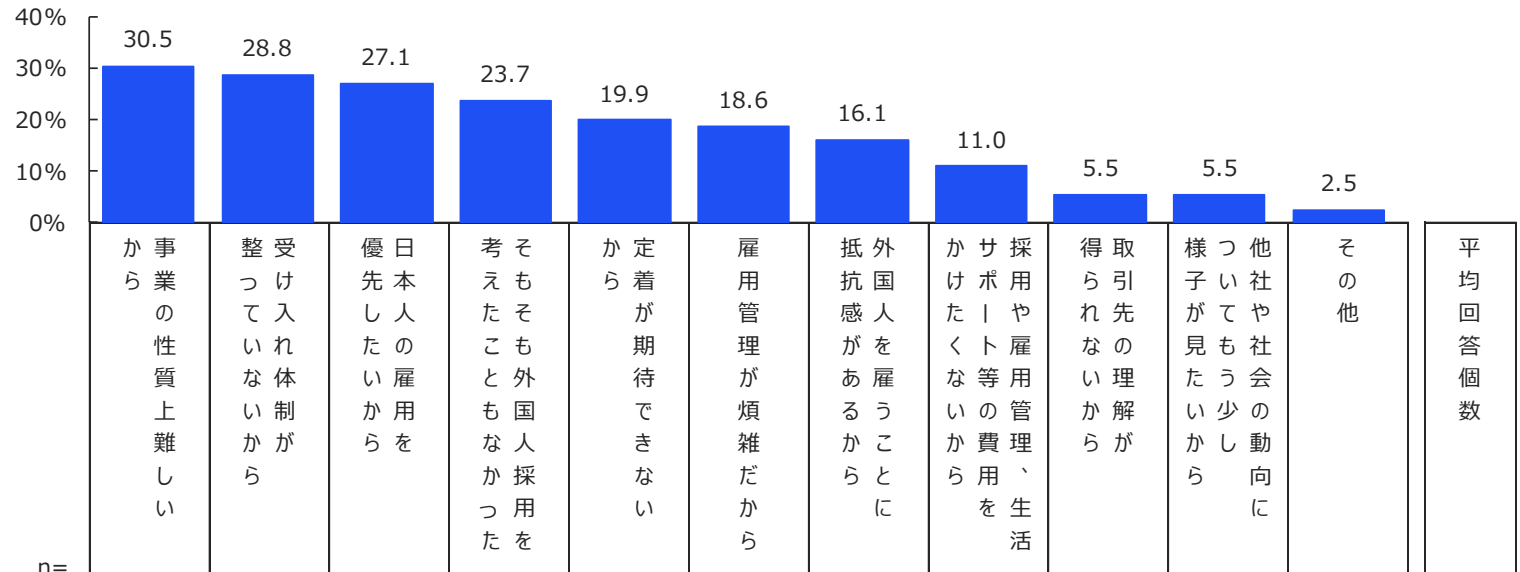
			(%)		
			増やす予定がある	増やす予定はない	わからない
n=					
全体		141	68.1	15.6	16.3
業種別	建設業	58	63.8	17.2	19.0
	製造業	50	72.0	16.0	12.0
	宿泊業、飲食サービス業	15	60.0	13.3	26.7
	福祉	13	69.2	15.4	15.4
従業員規模別	中小企業	63	57.1	19.0	23.8
	大企業	78	76.9	12.8	10.3
役職別	経営者・役員クラス	40	75.0	15.0	10.0
	一般社員～管理職クラス	101	65.3	15.8	18.8
国籍別 (特定技能)	ベトナム	72	73.6	12.5	13.9
	中国	52	69.2	17.3	13.5
	フィリピン	32	78.1	12.5	9.4
	インドネシア	23	73.9	17.4	8.7
	ミャンマー	18	66.7	16.7	16.7

※n=30未満は参考値のため灰色。

特定技能外国人 受け入れを検討しない理由（「特定技能外国人」受け入れの検討・予定なし企業）

Q 貴社において、「特定技能外国人」の受け入れを検討していない理由は何ですか。（複数回答）

- ▶ 特定技能外国人の受け入れを検討しないのは「事業の性質上難しいから」が30.5%と最も高く、次いで「受け入れ体制が整っていないから」「日本人の雇用を優先したいから」「そもそも外国人採用を考えたこともなかった」が20%台で続く。
- ▶ 業種別でみると、「事業の性質上難しいから」において、建設業は35.4%であるのに対し、製造業は22.6%にとどまる。



n=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		n=	事業の性質上難しいから	受け入れ体制が整っていないから	日本人の雇用を優先したいから	そもそも外国人採用を考えたこともなかった	定着が期待できない	雇用管理が煩雑だから	外国人を雇うことに抵抗感があるから	採用や雇用の管理、生活をサポートする費用がかかる	取引先からの解雇が怖い	子供が学校に行かない	その他	平均回答個数
全体		236	30.5	28.8	27.1	23.7	19.9	18.6	16.1	11.0	5.5	5.5	2.5	1.9
業種別	建設業	130	35.4	26.2	30.8	27.7	18.5	18.5	18.5	10.8	5.4	5.4	1.5	2.0
	製造業	53	22.6	30.2	22.6	17.0	24.5	17.0	9.4	9.4	-	7.5	7.5	1.7
	宿泊業, 飲食サービス業	17	11.8	35.3	29.4	29.4	29.4	17.6	-	17.6	5.9	-	-	1.8
	福祉	32	28.1	37.5	18.8	18.8	15.6	25.0	28.1	12.5	15.6	6.3	-	2.1
従業員規模別	中小企業	188	30.9	28.7	27.7	25.5	19.7	17.6	18.1	12.2	4.3	4.3	1.6	1.9
	大企業	48	29.2	29.2	25.0	16.7	20.8	22.9	8.3	6.3	10.4	10.4	6.3	1.9
役職別	経営者・役員クラス	210	32.4	30.5	27.1	24.3	19.5	18.6	16.7	11.4	5.2	4.8	2.4	1.9
	一般社員～管理職クラス	26	15.4	15.4	26.9	19.2	23.1	19.2	11.5	7.7	7.7	11.5	3.8	1.6

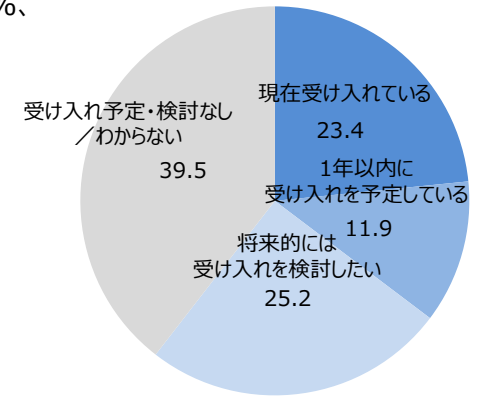
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

■ 受け入れ状況

「現在受け入れている」が23.4%、「1年以内に受け入れを予定している」が11.9%、「将来的には受け入れを検討したい」が25.2%、「受け入れ予定・検討なし／わからない」が39.5%であった。

■ 受け入れ状況 (n=755)



■ 国籍別

1位「ベトナム」 54.3% 2位「中国」 31.5% 3位「フィリピン」 21.7%

■ 受け入れている（受け入れを検討している）理由

「人手不足の緩和のため」が69.1%、「若年層の人材確保のため」が41.6%、「国際貢献・国際協力のため」が20.6%であった。

■ 受け入れが及ぼす良い影響

現在受け入れている（働いている）企業では「人材不足の緩和につながった」が55.9%、「採用コストの削減につながった」が32.2%
現在受け入れ企業では約99%の企業で何らかの良い影響を感じている。

■ 採用活動で困ったこと／不安なこと

「技能実習生の日本語レベルが心配」が46.8%、「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」が39.6%、「在留資格申請の手間が煩雑・複雑」が35.7%であった。

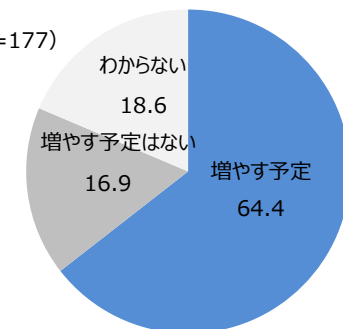
■ 受け入れ後の課題／想定している課題

「技能実習生の日本語レベル」が42.9%、「技能実習生の生活面のケアや管理」が39.6%、「技能実習生への日本の生活ルール・マナーの指導」が38.3%であった。

■ 採用数増員意向

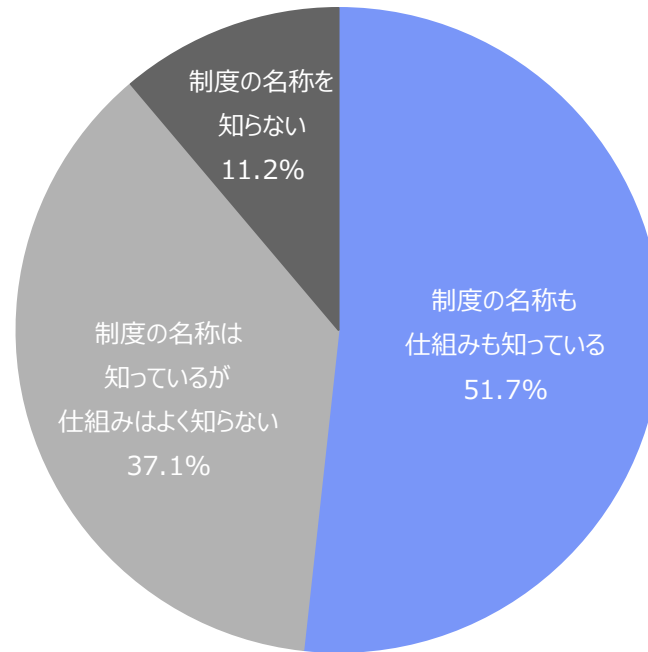
技能実習生を現在受け入れている企業のうち、「増やす予定」が64.4%、「増やす予定はない」が16.9%、「わからない」が18.6%であった。

■ 採用数増員意向 (n=177)



Q あなたは下記の制度を知っていますか。／技能実習制度

- 「制度の名称も仕組みも知っている」は51.7%、「制度の名称は知っているが仕組みはよく知らない」は37.1%、「制度の名称を知らない」は11.2%
 - 制度の名称の認知は9割程度となったが、受け入れ対象業種の企業でも1割は名称を知らなかった。



(n=860)

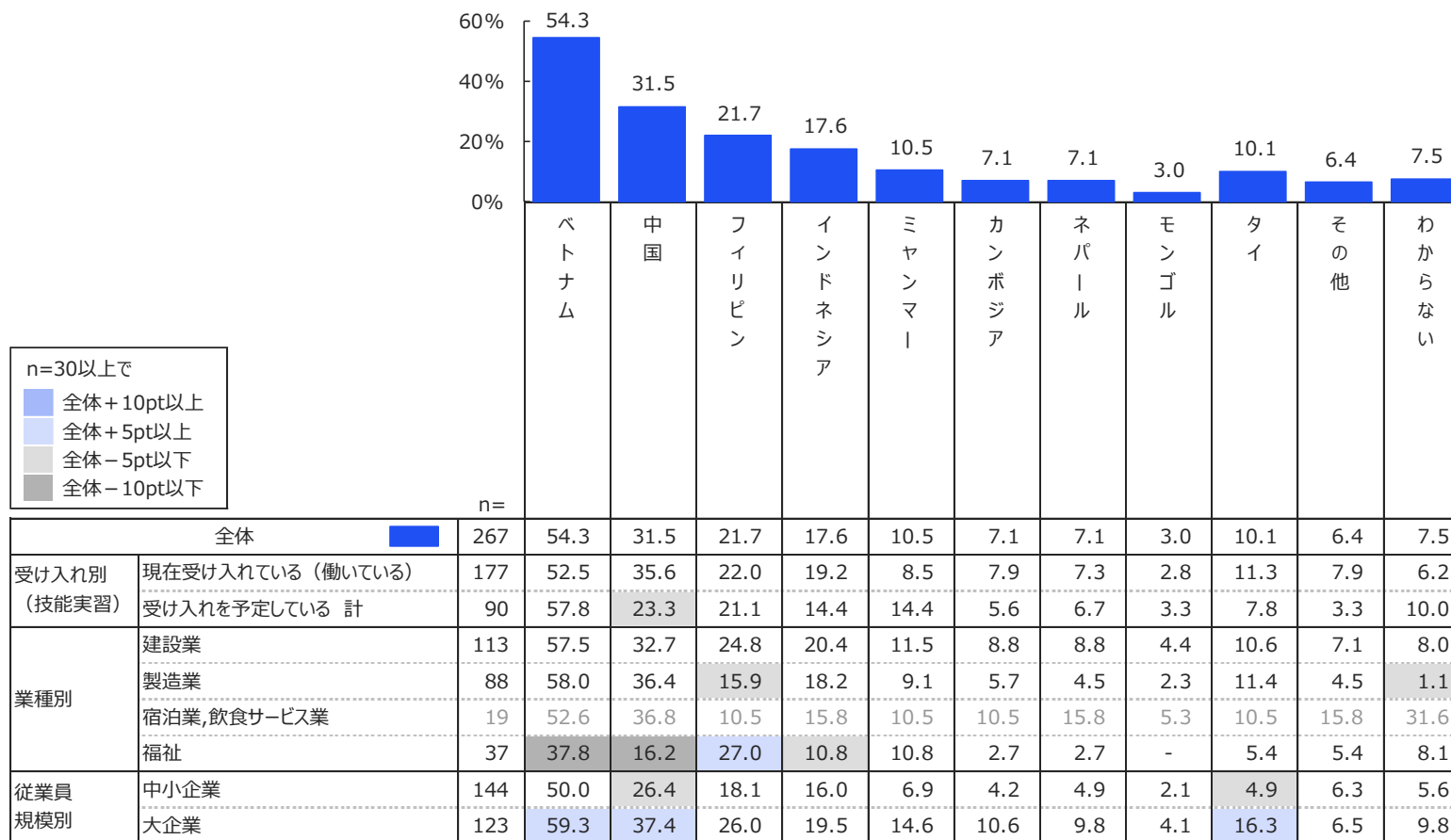
Q 現在、貴社では「技能実習生」を受け入れていますか。

- ▶ 技能実習生を「現在受け入れている」のは23.4%、『1年以内の時期に受け入れを予定している』のは11.9%、「将来的には受け入れを検討したい」のは25.2%、『受け入れ予定・検討なし／わからない』と回答したのは39.5%。
- ▶ 業種別では、製造業で30.8%が現在受け入れているのに対し、宿泊業、飲食サービス業は16.2%にとどまる。
- ▶ 従業員規模別でみると、技能実習生を受け入れているのは大企業で37.1%、中小企業で17.1%と大きな差がみられる。
- ▶ 特定技能受け入れ別では、現在受け入れ企業の83.0%が技能実習生も現在受け入れており、1年以内の受け入れ予定を含めると9割超と高い。

		n=	現在受け入れている (働いている)	半年以内の時期に 受け入れを予定している		半年超1年以内の 時期に受け入れを 予定している	受け入れの予定は ないが、将来的には 検討したい	受け入れる予定はなく、 検討する予定もない	わからない
全体		755	23.4	6.9	5.0	25.2	33.9	5.6	
業種別	建設業	370	20.5	5.9	4.1	25.9	37.0	6.5	
	製造業	201	30.8	8.5	4.5	23.9	28.4	4.0	
	宿泊業、飲食サービス業	68	16.2	5.9	5.9	27.9	38.2	5.9	
	福祉	96	21.9	7.3	9.4	24.0	32.3	5.2	
従業員 規模別	中小企業	515	17.1	5.8	5.0	28.0	38.6	5.4	
	大企業	240	37.1	9.2	5.0	19.2	23.8	5.8	
受け入れ別 (特定技能)	現在受け入れている (働いている)	141	83.0	6.4	2.1	4.3	3.5	0.7	

Q 現在、貴社で受け入れている（予定含む）「技能実習生」の国籍を教えてください。

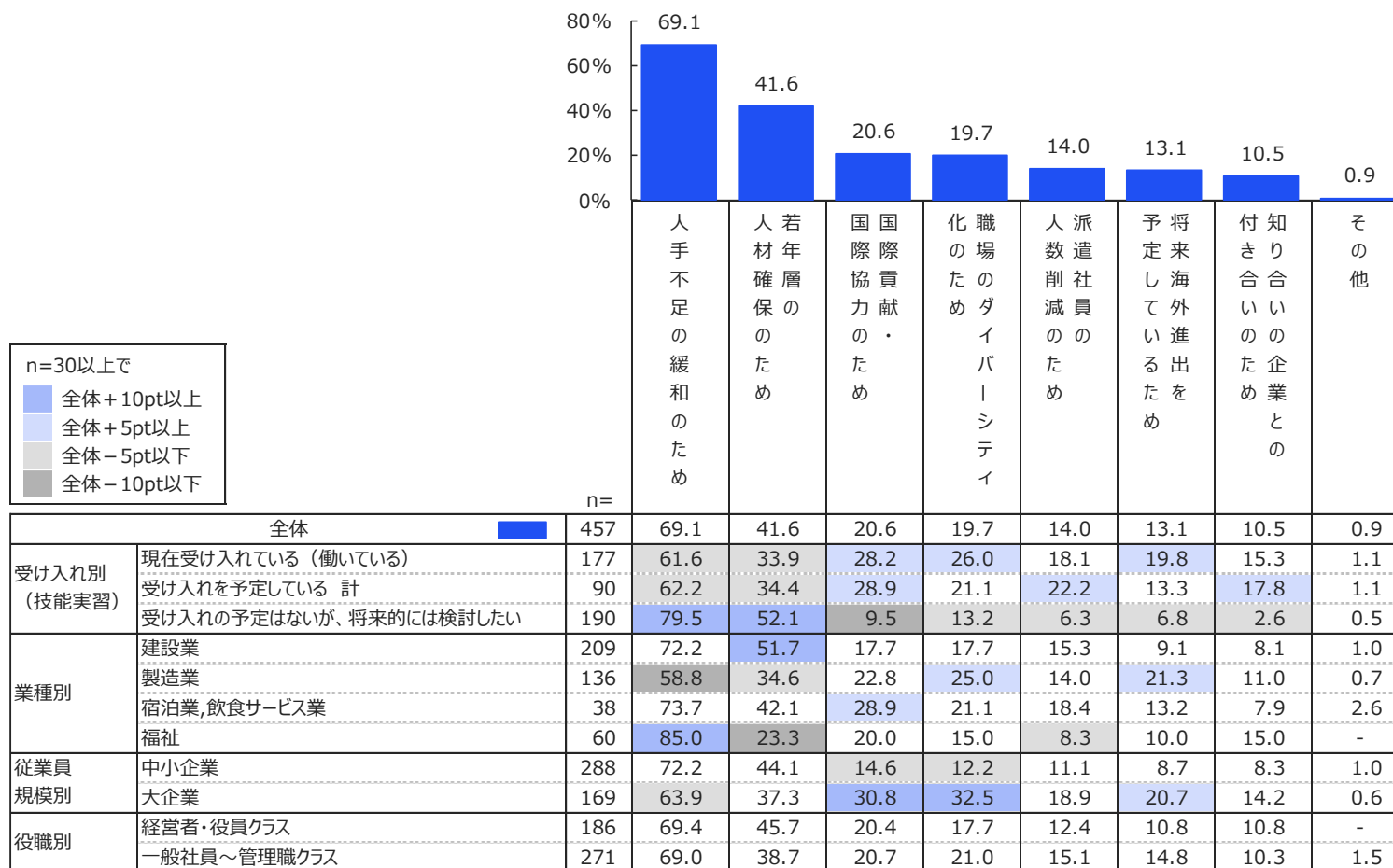
- ▶ 技能実習生の国籍は、「ベトナム」が54.3%と最も高く、「中国」（31.5%）、「フィリピン」（21.7%）と続く。
 - ▶ 技能実習受け入れ別では、「ベトナム」は現在受け入れ企業、受け入れ予定企業のいずれも半数超である一方、「中国」は両者の間で10pt以上の差がみられる。
 - ▶ 業種別でみると、福祉では「フィリピン」が27.0%で全体値よりも高いのに対し、「ベトナム」「中国」はいずれも全体値を大きく下回る。
 - ▶ 従業員規模別では、大企業は「ベトナム」「中国」「タイ」からの受け入れが、中小企業を10pt程度上回る。



※n=30未満は参考値のため灰色。

Q 貴社が、現在「技能実習生を受け入れている」または「受け入れを検討している」理由は何ですか。（複数回答）

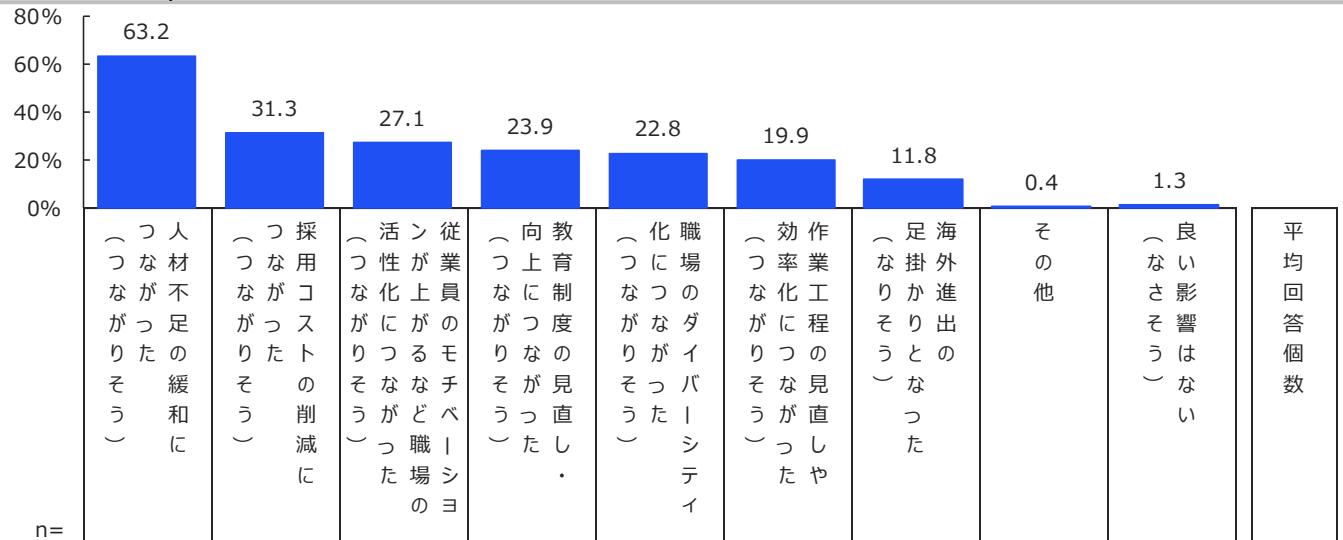
- ▶ 技能実習生の受け入れ理由は、「人手不足の緩和のため」が69.1%と最も高く、次いで「若年層の人材確保のため」（41.6%）。
- ▶ 技能実習受け入れ別では、検討企業は「人手不足の緩和のため」「若年層の人材確保のため」が全体値を大きく上回るのに対し、「国際貢献・国際協力のため」が1割に満たない。
- ▶ 業種別でみると、建設業では「若年層の人材確保のため」が51.7%、福祉では、「人手不足の緩和のため」が85.0%となっており、業種により必要とされる年代に差がみられる。
- ▶ 従業員規模別では、大企業の「国際貢献・国際協力のため」「職場のダイバーシティ化のため」のスコアが、中小企業を2倍以上上回る。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q 「技能実習生」を受け入れることで実際にあった「良い影響」はなんですか。または、「技能実習生」を受け入れることで想定している「良い影響」はなんですか。
（複数回答）

- ▶ 技能実習生が及ぼす影響について、「人材不足の緩和につながった」が63.2%で最も高く、「採用コストの削減につながった」（31.3%）と続く。
 - ▶ 受け入れ別みると、現在受け入れている（働いている）企業では「人材不足の緩和につながった」が55.9%、「採用コストの削減につながった」が32.2%、「教育制度の見直し・向上につながった」が31.1%となった。現在受け入れ企業では約99%の企業で何らかの良い影響を感じている。
 - ▶ 業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業で「採用コストの削減につながった」「職場のダイバーシティ化につながった」が、福祉で「人材不足の緩和につながった」が他業種を上回る。
 - ▶ 従業員規模別では、多くの項目で大企業が中小企業より5pt以上高い。

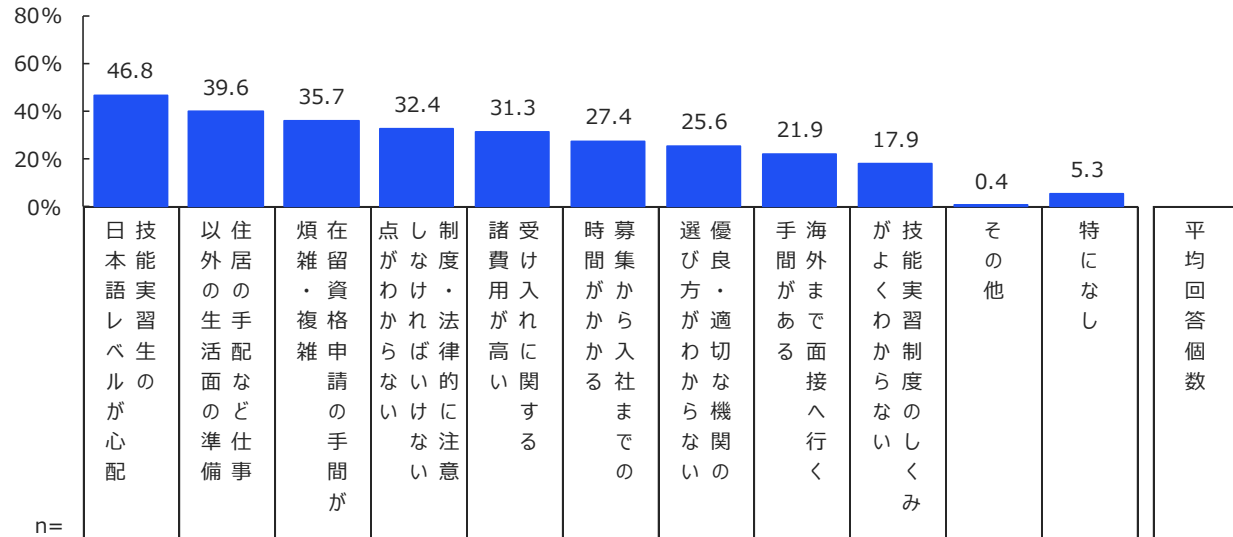


n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	63.2	31.3	27.1	23.9	22.8	19.9	11.8	0.4	1.3	平均回答個数
全体		457	63.2	31.3	27.1	23.9	22.8	19.9	11.8	0.4	1.3	2.0
受け入れ別 (技能実習)	現在受け入れている（働いている）	177	55.9	32.2	27.7	31.1	26.6	24.3	17.5	1.1	1.1	2.2
	受け入れを予定している 計	90	57.8	37.8	33.3	22.2	22.2	24.4	12.2	-	-	2.1
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	72.6	27.4	23.7	17.9	19.5	13.7	6.3	-	2.1	1.8
業種別	建設業	209	66.5	34.4	27.8	22.5	19.6	23.4	9.6	-	1.0	2.0
	製造業	136	51.5	26.5	25.0	30.1	26.5	22.8	15.4	1.5	1.5	2.0
	宿泊業、飲食サービス業	38	68.4	42.1	34.2	23.7	39.5	7.9	13.2	-	-	2.3
	福祉	60	76.7	23.3	23.3	13.3	16.7	11.7	11.7	-	3.3	1.8
従業員規模別	中小企業	288	65.6	27.4	29.5	19.1	18.1	17.0	6.9	0.3	1.7	1.8
	大企業	169	59.2	37.9	23.1	32.0	30.8	24.9	20.1	0.6	0.6	2.3
役職別	経営者・役員クラス	186	61.8	23.7	25.8	23.1	19.4	24.2	12.4	-	1.6	1.9
	一般社員～管理職クラス	271	64.2	36.5	28.0	24.4	25.1	17.0	11.4	0.7	1.1	2.1

Q 貴社において、「技能実習生」の採用活動の中で困ったことや不安なことはありますか。または、「技能実習生」を受け入れることになったとしたら、「採用活動」において不安なことはありますか。（複数回答）

- ▶ 採用活動の懸念点について、「技能実習生の日本語レベルが心配」（46.8%）が最も高く、「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」「在留資格申請の手間が煩雑・複雑」「制度・法律的に注意しなければいけない点がわからない」「受け入れに関する諸費用が高い」が30%台で続く。
- ▶ 技能実習受け入れ別では、「技能実習生の日本語レベルが心配」で、現在受け入れ企業と受け入れ予定企業は4割未満、一方で検討企業は6割超と受け入れ段階により大きな差がみられる。
- ▶ 業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業、福祉で「技能実習生の日本語レベルが心配」が他業種より高く、接客応対が多い職種のため日本語を求められている様子。
- ▶ 役職別でみると、経営者・役員クラスは「住居の手配など仕事以外の生活面の準備」に対して不安を持っていることがうかがえる。



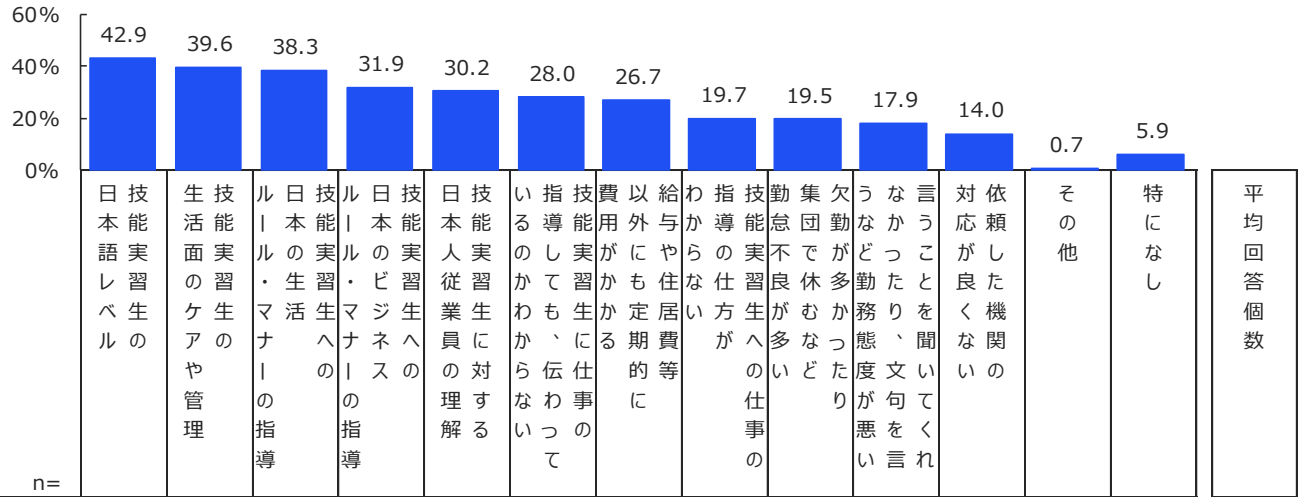
n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	日本語レベルが心配	住居の手配など生活面の準備	在留資格・複雑申請の手間が煩雑・複雑	制度・法律的に注意しなければいけない点が多い	受け入れ費用が高い	募集期間が長くなる	優秀な人材が適当に選べない	海外へ行く際の準備が面倒	技術実習の制約が多い	その他	特になし	平均回答個数
全体		457	46.8	39.6	35.7	32.4	31.3	27.4	25.6	21.9	17.9	0.4	5.3	2.8
受け入れ別 (技能実習)	現在受け入れしている(働いている)	177	35.6	33.9	34.5	26.6	29.9	26.6	19.8	26.6	11.9	-	8.5	2.5
	受け入れを予定している 計	90	38.9	38.9	24.4	31.1	31.1	32.2	23.3	10.0	13.3	-	5.6	2.4
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	61.1	45.3	42.1	38.4	32.6	25.8	32.1	23.2	25.8	1.1	2.1	3.3
業種別	建設業	209	45.9	41.6	34.0	32.5	29.2	27.8	23.9	25.4	20.1	0.5	5.7	2.8
	製造業	136	43.4	33.1	39.0	30.1	30.9	27.2	25.0	19.9	15.4	-	3.7	2.6
	宿泊業、飲食サービス業	38	52.6	34.2	39.5	36.8	34.2	21.1	28.9	13.2	15.8	-	7.9	2.8
	福祉	60	56.7	40.0	30.0	36.7	35.0	30.0	35.0	20.0	15.0	1.7	6.7	3.0
従業員規模別	中小企業	288	48.6	40.6	33.7	32.3	30.9	28.1	27.8	19.4	20.5	0.7	4.5	2.8
	大企業	169	43.8	37.9	39.1	32.5	32.0	26.0	21.9	26.0	13.6	-	6.5	2.7
役職別	経営者・役員クラス	186	40.9	44.6	33.3	30.1	34.4	23.1	21.5	20.4	18.3	1.1	4.8	2.7
	一般社員～管理職クラス	271	50.9	36.2	37.3	33.9	29.2	30.3	28.4	22.9	17.7	-	5.5	2.9

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 貴社において「技能実習生」の受け入れ後に、「実際に感じた課題」はなんですか。または、「技能実習生」の受け入れ後に、「想定している課題」はなんですか。
（複数回答）

- ▶ 技能実習生受け入れの課題について、「技能実習生の日本語レベル」が42.9%と最も高く、「技能実習生の生活面のケアや管理」「技能実習生への日本の生活ルール・マナーの指導」と続く。
- ▶ 技能実習生受け入れ別では、上記項目や「技能実習生への日本のビジネスルール・マナーの指導」において、検討企業が他企業に15～20pt程度高い。
- ▶ 業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業で「技能実習生の生活面のケアや管理」が他業種を上回る。
- ▶ 国籍別では、フィリピンやインドネシアで「技能実習生に対する日本人従業員の理解」「言うことを聞いてくれなかったり、文句を言うなど勤務態度が悪い」への懸念が他国籍以上に強いことがうかがえる。平均回答個数も全体より0.5個以上多く、懸念事項が多いようだ。



n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	42.9	39.6	38.3	31.9	30.2	28.0	26.7	19.7	19.5	17.9	14.0	0.7	5.9	平均回答個数
全体		457	42.9	39.6	38.3	31.9	30.2	28.0	26.7	19.7	19.5	17.9	14.0	0.7	5.9	3.1
受け入れ別 (技能実習)	現在受け入れている(働いている)	177	37.3	31.1	28.8	24.9	28.2	24.3	29.4	14.7	13.6	18.1	14.7	0.6	6.2	2.7
	受け入れを予定している 計	90	35.6	28.9	28.9	34.4	27.8	26.7	24.4	16.7	18.9	24.4	13.3	-	6.7	2.8
	受け入れの予定はないが、将来的には検討したい	190	51.6	52.6	51.6	37.4	33.2	32.1	25.3	25.8	25.3	14.7	13.7	1.1	5.3	3.6
業種別	建設業	209	44.0	40.7	40.7	36.8	34.4	32.1	26.3	26.3	21.5	20.1	17.7	0.5	5.3	3.4
	製造業	136	41.2	36.8	36.8	25.0	25.7	27.2	24.3	17.6	17.6	14.7	10.3	-	4.4	2.8
	宿泊業、飲食サービス業	38	47.4	50.0	47.4	34.2	15.8	13.2	26.3	7.9	23.7	21.1	13.2	-	5.3	3.0
	福祉	60	40.0	35.0	26.7	28.3	31.7	20.0	30.0	10.0	13.3	15.0	10.0	3.3	13.3	2.6
従業員規模別	中小企業	288	43.8	42.4	37.5	34.0	30.2	28.8	26.7	20.5	19.1	16.7	12.2	0.7	6.3	3.1
	大企業	169	41.4	34.9	39.6	28.4	30.2	26.6	26.6	18.3	20.1	20.1	17.2	0.6	5.3	3.0
役職別	経営者・役員クラス	186	41.4	40.9	36.0	29.0	28.5	22.6	29.0	18.3	13.4	14.0	14.0	0.5	7.0	2.9
	一般社員～管理職クラス	271	43.9	38.7	39.9	33.9	31.4	31.7	25.1	20.7	23.6	20.7	14.0	0.7	5.2	3.2
国籍別 (技能実習)	ベトナム	145	41.4	37.9	33.1	30.3	33.8	31.7	27.6	16.6	17.2	22.8	16.6	0.7	3.4	3.1
	中国	84	36.9	35.7	32.1	33.3	31.0	31.0	29.8	13.1	21.4	25.0	17.9	-	3.6	3.1
	フィリピン	58	46.6	43.1	36.2	39.7	46.6	41.4	31.0	24.1	31.0	31.0	17.2	-	3.4	3.9
	インドネシア	47	42.6	34.0	34.0	25.5	38.3	31.9	40.4	27.7	23.4	31.9	29.8	-	2.1	3.6
	ミャンマー	28	53.6	39.3	25.0	25.0	39.3	21.4	42.9	25.0	21.4	35.7	32.1	-	10.7	3.6

※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 貴社において、「技能実習生」の受け入れを検討していない理由は何ですか。（複数回答）

- ▶ 技能実習生の受け入れを検討しないのは「事業の性質上難しいから」が30.9%と最も高く、次いで「受け入れ体制が整っていないから」「日本人の雇用を優先したいから」「そもそも外国人採用を考えたこともなかった」が20%台で続く。
- ▶ 業種別でみると、「事業の性質上難しいから」において、建設業は35.0%であるのに対し、製造業は19.3%にとどまる。
- ▶ 従業員規模別でみると、「外国人を雇うことに抵抗感があるから」は中小企業で15.6%となり、大企業に対し10pt以上高くなっている。



n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	事業の性質上難しいから	受け入れ体制が整っていないから	日本人の雇用を優先したいから	そもそも外国人採用を考えたこともなかった	雇用管理が煩雑だから	定着が期待できないから	外国人を雇うことに抵抗感があるから	採用や雇用の管理、生活をサポートする費用がかかるから	取引先からの問い合わせが少く、見込みが立たないから	社員の意向が一致しないから	その他	平均回答個数
全体		256	30.9	28.1	25.4	23.8	18.0	16.8	13.3	9.0	3.9	3.5	3.1	1.8
業種別	建設業	137	35.0	26.3	25.5	27.7	16.1	12.4	16.1	8.8	3.6	3.6	1.5	1.8
	製造業	57	19.3	28.1	24.6	17.5	17.5	22.8	7.0	5.3	-	3.5	10.5	1.6
	宿泊業、飲食サービス業	26	23.1	38.5	23.1	23.1	26.9	26.9	-	11.5	3.8	3.8	-	1.8
	福祉	31	35.5	32.3	25.8	19.4	22.6	19.4	25.8	16.1	12.9	3.2	-	2.1
従業員規模別	中小企業	199	31.7	29.1	26.6	26.6	17.1	17.1	15.6	10.6	3.5	3.0	1.5	1.8
	大企業	57	28.1	24.6	21.1	14.0	21.1	15.8	5.3	3.5	5.3	5.3	8.8	1.5
役職別	経営者・役員クラス	229	32.3	29.3	25.8	23.6	17.9	16.6	14.0	9.2	3.5	3.5	2.6	1.8
	一般社員～管理職クラス	27	18.5	18.5	22.2	25.9	18.5	18.5	7.4	7.4	7.4	3.7	7.4	1.6

※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q 貴社では、今後「技能実習生」の採用数を増やす予定はありますか。

- ▶ 技能実習生の採用数について、「増やす予定がある」のは64.4%と6割程度。「増やす予定はない」のは16.9%、「わからない」は18.6%。
- ▶ 従業員規模別では、大企業の70.8%が「増やす予定がある」と回答。中小企業の58.0%に大きく差をつけている。
- ▶ 役職別でみると、「増やす予定がある」のは経営者・役員クラスでは70.0%と一般社員～管理職クラスに比べて高い。
- ▶ 国籍別では、ベトナム、フィリピン、インドネシアでいずれも7割超が「増やす予定がある」と回答しており、全体値を大きく上回る。

			(%)		
			増やす予定がある	増やす予定はない	わからない
n=					
全体		177	64.4	16.9	18.6
業種別	建設業	76	68.4	14.5	17.1
	製造業	62	56.5	21.0	22.6
	宿泊業, 飲食サービス業	11	72.7	9.1	18.2
	福祉	21	57.1	23.8	19.0
従業員規模別	中小企業	88	58.0	19.3	22.7
	大企業	89	70.8	14.6	14.6
役職別	経営者・役員クラス	60	70.0	15.0	15.0
	一般社員～管理職クラス	117	61.5	17.9	20.5
国籍別 (技能実習)	ベトナム	93	74.2	14.0	11.8
	中国	63	68.3	12.7	19.0
	フィリピン	39	79.5	10.3	10.3
	インドネシア	34	76.5	11.8	11.8
	ミャンマー	15	66.7	20.0	13.3

※n=30未満は参考値のため灰色。